



市議会ホームページ
QRコード

平成30年度一般会計・6特別会計予算を可決 国分寺市介護保険条例等全60議案を可決

平成30年第1回定例会は、2月23日から3月26日までの32日間の会期で開催し、市長提出議案59件、委員会提出議案1件を議決しました。(結果は8頁に掲載)

2月25日には日曜議会を開催し、多くの市民の方が傍聴される中、市長の施政方針に対する各会派による代表質問を行いました。(2～4頁に掲載)

また、一般会計予算案に対して各会派による討論を行い、賛成・反対の意見表明をしました。(5～7頁に掲載)



リオン広場から臨むcocobunjiプラザ

平成30年度一般会計予算を賛成多数で可決

平成30年度当初予算案(一般会計と6特別会計)は、2月23日の本会議において予算特別委員会(高橋りょう子委員長、本橋たくみ副委員長)を設置して同委員会に付託しました。委員会では3月9日から19日までの7日間(40時間)にわたり審査を行いました。

予算編成での特色・予算の内容は

国分寺市総合ビジョンの2年目を迎える平成30年度予算は、一般会計が449億5,598万6千円(前年度比9.3%減)、6特別会計(前年度7特別会計。地域バス運行事業特別会計は平成29年度末で廃止)を合わせた総額は717億9,090万5千円(前年度比26.7%減)です。一般会計は前年度に対し、46億3,212万円、予算総額では261億8,988万7千円の減額となりました。主な減の要因は、歳入では、国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計繰入金の減、歳出では、前年度の国分寺駅北口再開発ビルの保留床処分金を活用した積立金を減額したことが挙げられます。国分寺駅北口再開発事業関連の予算が減額となったことが主な減の要因となっていますが、歳出において扶助費では待機児童解消に伴う保育所入所児委託料等、維持補修費ではひかりプラザ施設修繕費等、

事業費では民設民営保育所園舎建設費等補助金等が前年度に対し増となり、一般会計及び全会計総額とも前年度に次いで過去2番目に大きな予算規模となりました。

予算編成の基本的考え方を質す

交付金では「地方消費税交付金が国の清算基準の見直しにより3億円減となることが見込まれているが、財政への影響は大きい」等、**経常収支比率**では「扶助費の伸び等で悪化が続くことが見込まれる中、今後の財政運営の考え方は」等、**基金**では「財政は回復したのではという議論がある中、基金も全体的に足りていない。今後も厳しく財政運営を行うべき」等、**公債費**では「償還が進むよう組まれたフレームだが、庁舎建設費等が反映されていない。この見立てが成り立つのか」等、**国分寺市ビジョン関連**では「2年目を迎えるが、施策評価の結果等をフレームにどう反映するのか」、**財政フレーム**では「オリンピック・パラリンピックの開催に向けて資材が高騰している等の状況や開催後の経済状況を含めたフレームとなっているか」等といった質疑がありました。

歳入にかかる主な質疑

歳入では、**市税**に関し、「納税相談充実のための取り組みは何か」「都市計画税がどのような事業に充てられているか、その示し方の検討を」等といった質疑があり、その他の歳入につ

いては、「cocobunjiプラザの使用料の積算根拠は」「クラウドファンディングは今後も積極的な活用を」等の質疑がありました。

歳出にかかる主な質疑

歳出では、**人件費**に関し「退職手当基金の考え方の整理を」「超過勤務手当の削減に向けた取り組みは何か」等の質疑がありました。

次に費目ごとに審査し、**総務費**では「庁舎基本構想の策定では、省エネルギーの観点等から環境に配慮した新庁舎の検討を」「こくベジプロジェクトは今後も補助が必要」「cocobunjiプラザのランニングコストはLホールと比べ負担増だ。収益を上げる工夫等と負担を低く抑えるよう注力を」等、**民生費**では「生活困窮者の自立に向けた相談支援体制を盤石に」「高齢者配食サービス事業を3年間で終了する理由は」「障害者移動支援充実のため、ガイドヘルパー不足の解消に向けて賃金改定等の検討を」「障害児の待機児童解消に向けて民間の児童発達支援事業所等の誘致について都と協議を」「いじめ・虐待防止のため子ども専用相談電話にフリーダイヤルの導入を」「登録者数が定員数を超過している現状・狭あい状況から学童保育所の早急な整備等を。小学4年生以上の受け入れについて引き続き検討を」等、**衛生費**では「いきいきセンター指定管理の募集金額を上げた理由は」「新規導入の骨髄移植ドナー支援事業助成金、特定

次ページに続く▶

シリーズ 国分寺市議会⑥

予算特別委員会

毎年2月から行われる第1回定例会において、翌年度に見込まれる収入と行政サービスの費用(支出)等を見積もった「予算」の審査を行うため市議会に設置される特別委員会です。

この委員会は、議長を除く全議員で構成しており、予算書を1頁ずつ確認し、その内容と費用の妥当性等について審査を行っています。

なお、審査にあたっては、翌年度の予算だけでなく、将来の財政見通し(財政フレーム【※】)が健全なものであるか

の確認を行っています。

今年の予算特別委員会は、7日間40時間を費やし、必要な行政サービスが計画されているか、効率的・効果的な市政運営に寄与するものか等、しっかりと審査を行っております。

※財政フレームとは

将来に渡って歳入と歳出の額を積み上げて中長期的な計画の財源的裏づけをするもので、計画を達成できるかどうかを左右する重要な試算です。財政フレームは、国分寺市総合ビジョンの期間である平成36年度まで試算しており、毎年度の予算編成時に再試算しています。

議員派遣

cocobunjiプラザを視察

平成30年3月5日、国分寺駅北口再開発ビルの「国分寺市立cocobunjiプラザ」等の視察を行いました。



(リオンホールにて)